

2018年度 東京成徳大学卒業時アンケート結果の概要(子ども学科)

教育研究改善委員会、企画・IR室、両学生支援課

I 調査の概要

(1) 目的

東京成徳大学が目指す「学修成果」を本学卒業予定者がどの程度身に付けているか検証する。

(2) 対象

2018年度卒業予定者(12月)

全体	393
日本伝統文化学科	24
国際言語文化学科	24
福祉心理学科	19
臨床心理学科	46
健康・スポーツ心理学科	41
子ども学科	137
経営学科	102

※実施は130名。

(3) 方法

各学科による学内での調査用紙の配布と回収(実施率:98.2%)

(4) 期間

2018年12月3日から2019年1月11日

(5) 回収状況

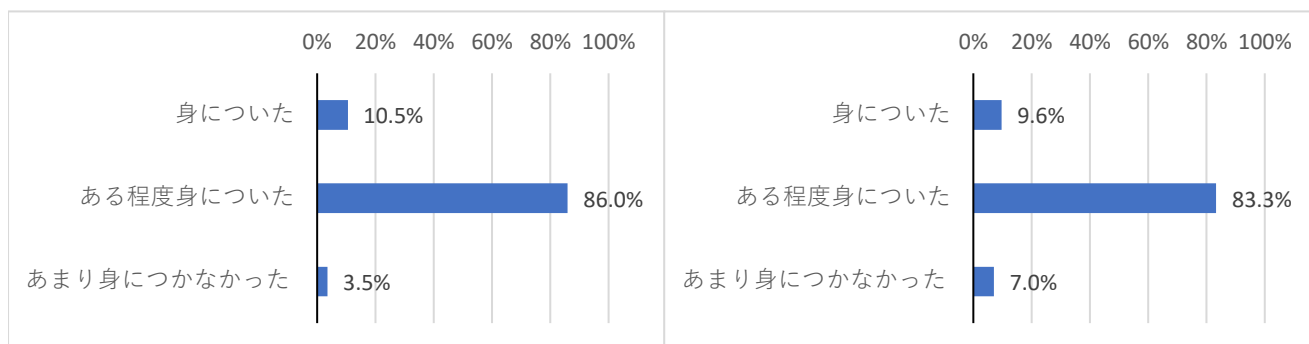
	回収数	回収率	男	女
全体	296	75.3%	99	197
日本伝統文化学科	15	62.5%	7	8
国際言語文化学科	20	83%	2	18
福祉心理学科	14	74%	2	12
臨床心理学科	41	89.1%	21	20
健康・スポーツ心理学科	33	80.5%	23	10
子ども学科	114	83.2%	6	108
経営学科	59	57.8%	38	21

II 各学科のDPの達成度

卒業するために学生が身に付けるべき能力や知識、スキル(=ディプロマ・ポリシー)がどの程度身についたと思いますか。

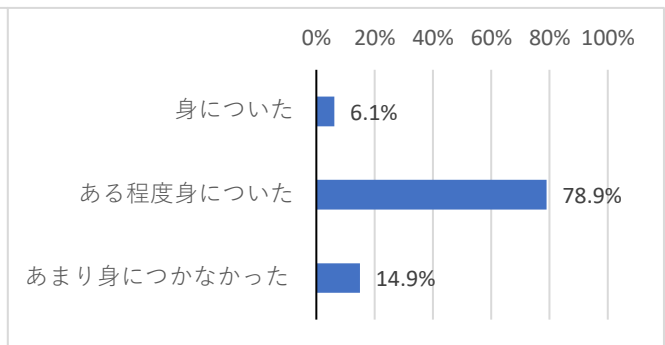
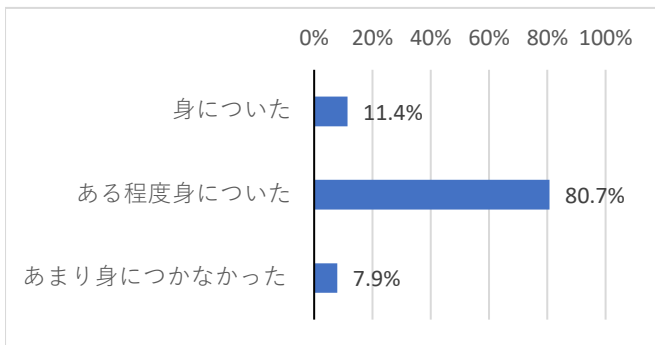
①. 多様化する社会の中で子ども問題に幅広い知識を持ち、問題解決能力を身につけている。

②. 子どもやその発達過程、また子どもたちを取り巻く環境について高い知識を持ち、それを適切に評価する能力を有している。



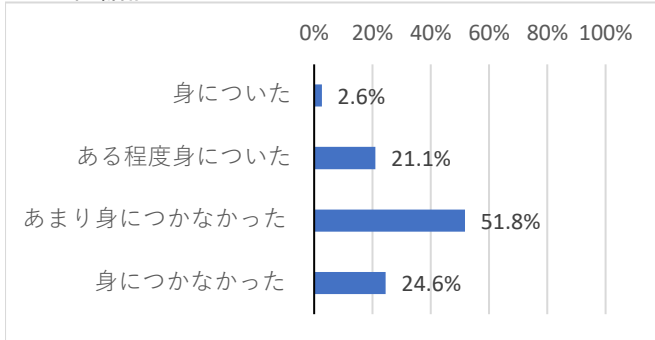
③. 子どもに関わる諸問題を総合的に理解し、それを子育て支援や乳幼児・児童期における保育・教育に携わる領域で実践できる知識、技能を有している。

④. 子どもの成長をサポートする領域で、それを最大限に支援する立場になる人材として、より多様で質の高い知識、技能を有している。

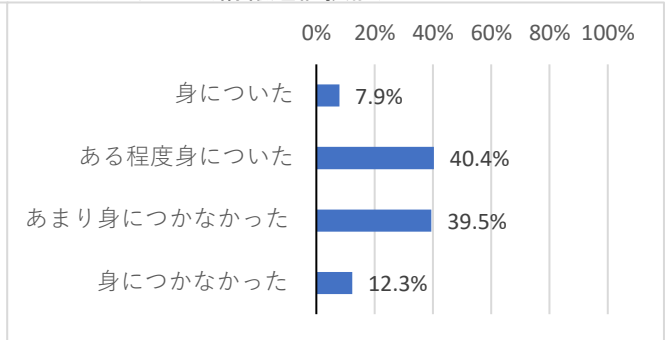


Ⅲ 下記の学修内容はどの程度身につきましたか？

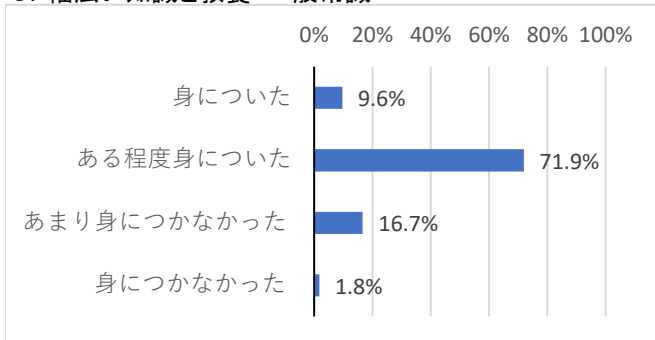
7. 外国語能力



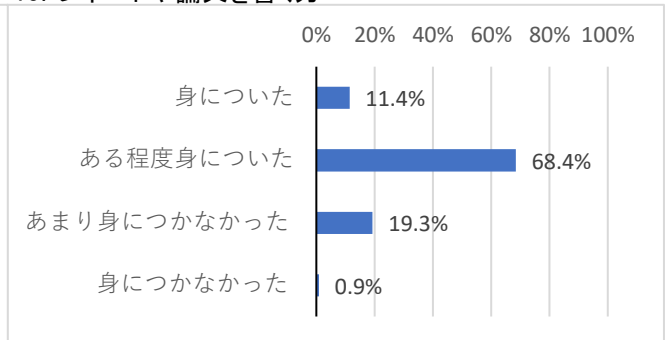
8. ICTリテラシー(情報通信技能)



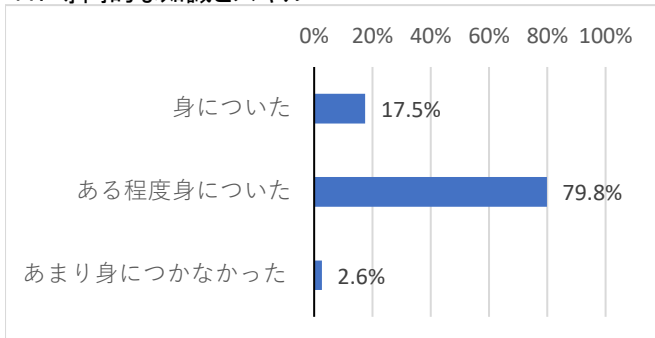
9. 幅広い知識と教養・一般常識



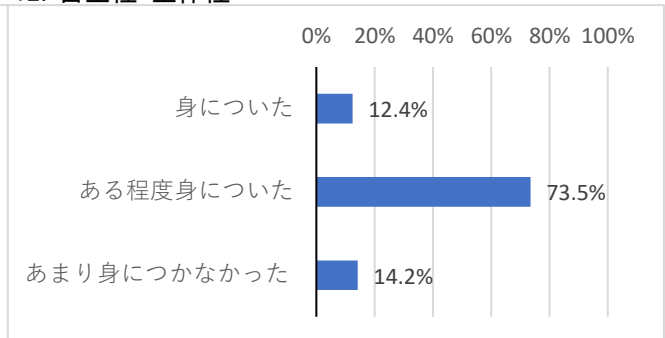
10. レポートや論文を書く力



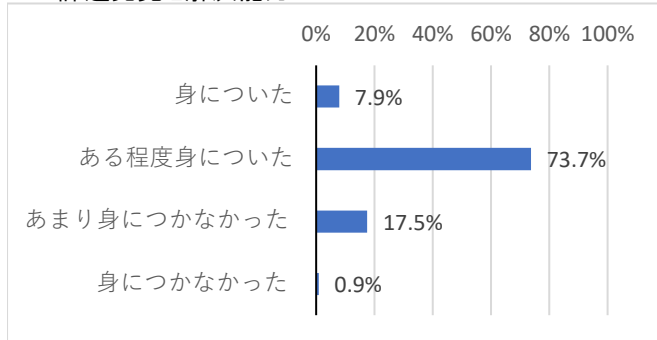
11. 専門的な知識とスキル



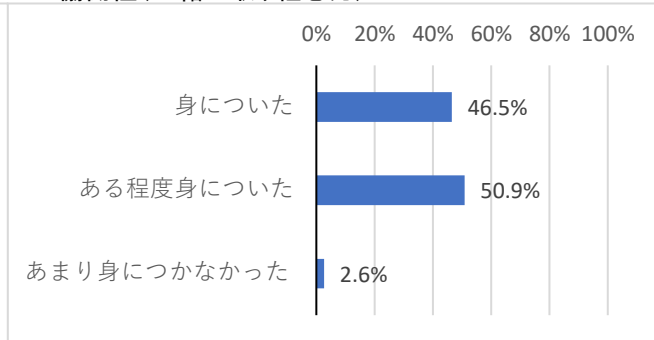
12. 自主性・主体性



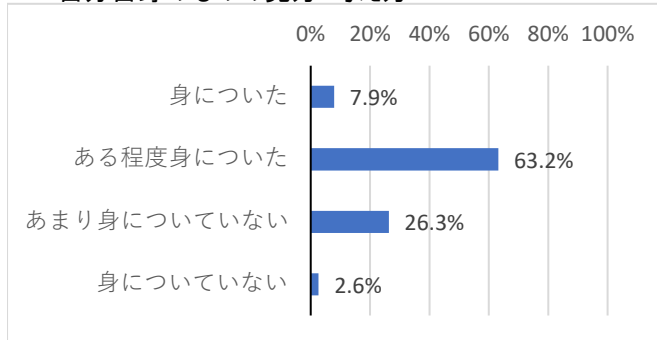
13. 課題発見と解決能力



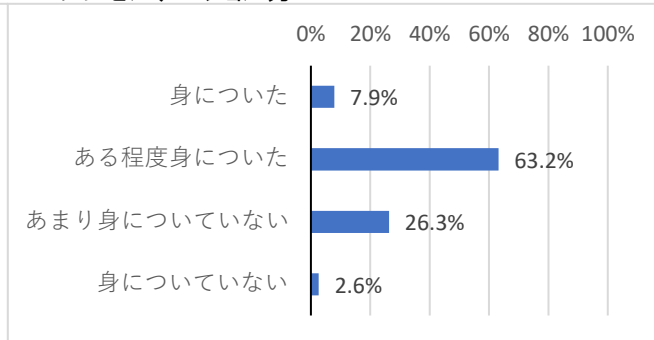
14. 協働性(一緒に取り組む力)



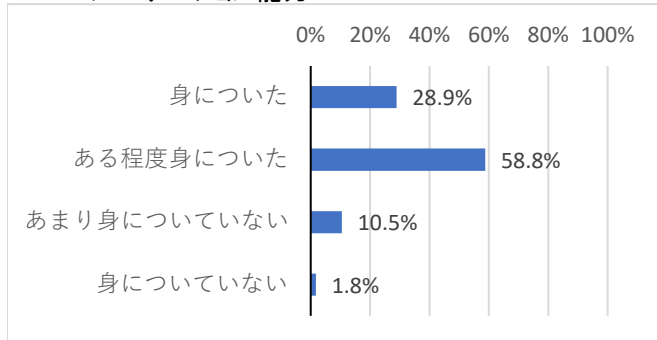
15. 自分自身のものの見方・考え方



16. プレゼンテーション力

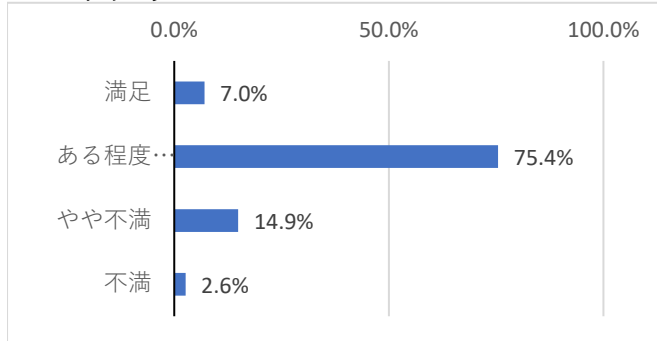


17. コミュニケーション能力

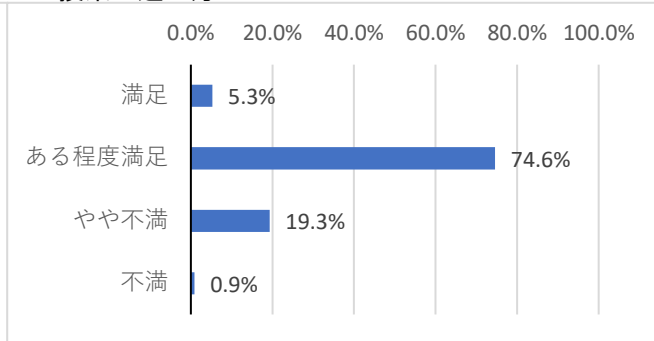


IV 下記の本学の取り組みについて、どの程度満足していますか？

18. カリキュラム

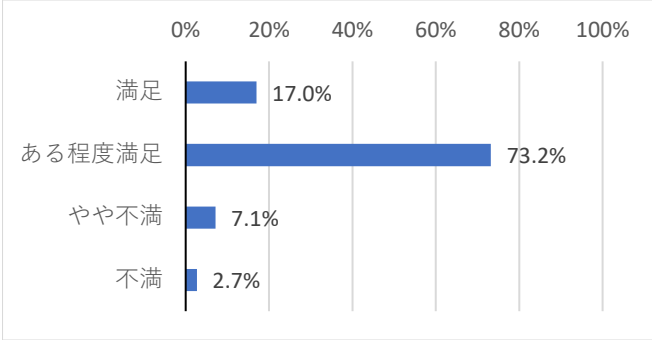


19. 授業の進め方



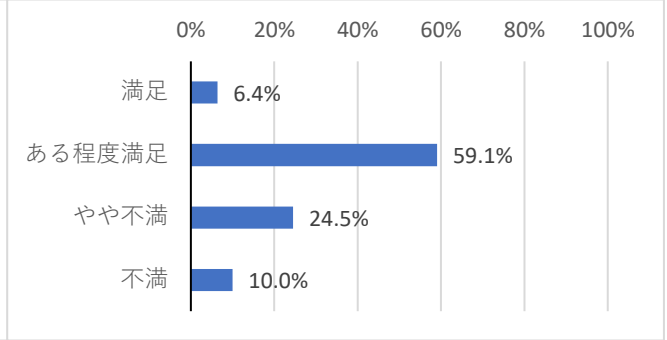
20. 成績評価

(無効:1人、回答なし:1人)

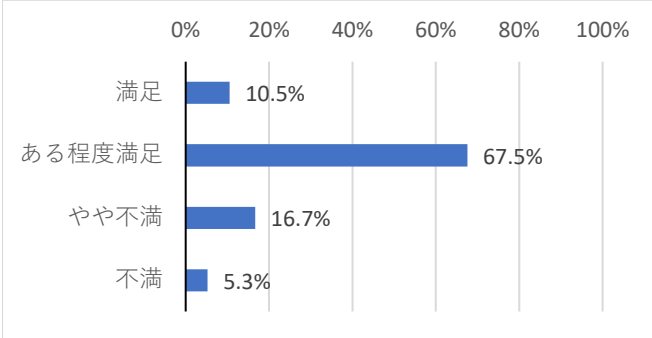


21. 留学制度

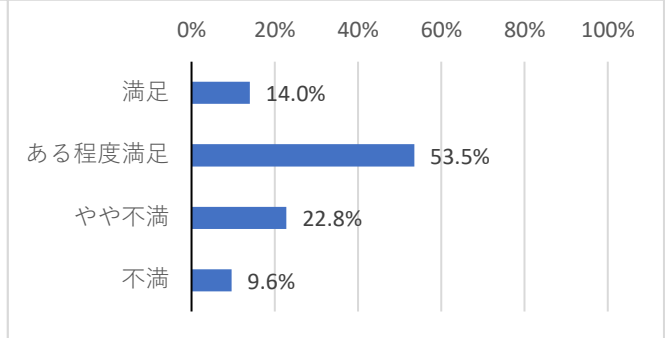
(回答なし:4人)



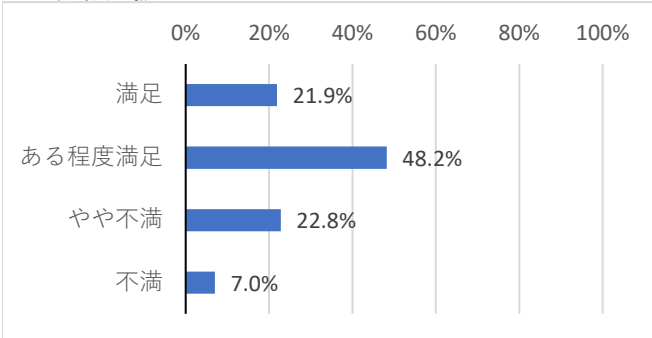
22. 課外活動



23. 学生支援(困ったときの支援)

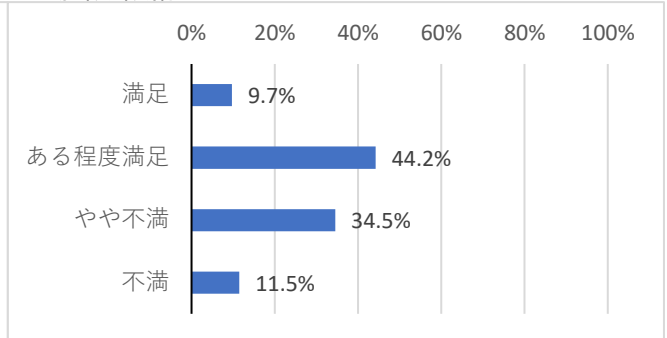


24. 就職支援



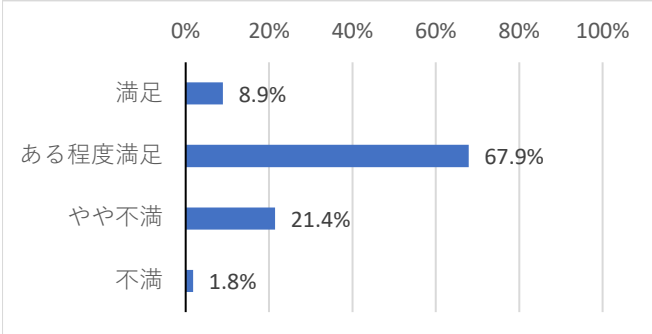
25. 施設・設備

(回答なし:1人)



26. 教員の対応

(無効:1人、回答なし:1人)



27. 職員の対応

(無効:1人)

